

|             |                                                                            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------|
| モデル事業名      | 二地域居住・定住希望者のニーズを踏まえた古民家活用などによる受け入れ環境整備事業                                   |
| 活動団体名       | 特定非営利活動法人 山梨ガバメント協会                                                        |
| ホームページ      | http:// (活動団体のHPのアドレス)<br>http://www.yamanashi-ga.org/                     |
| 所属／<br>担当者名 | 事務局長 磯村賢一                                                                  |
| 連絡先         | 080-3279-9995 <a href="mailto:k-isomura@fruits.jp">k-isomura@fruits.jp</a> |
| 活動地域        | 山梨県山梨市八幡（やはた）地域                                                            |

山梨県北東部に位置し首都圏から 100 キロ圏内に位置する山梨市は、森林、溪谷、温泉などの自然資源や歴史文化資源に恵まれた典型的な中山間地域である。主産業は桃や巨峰など果樹を中心とした農業だが、少子高齢化（65 歳以上 27%）、過疎化により空家や荒廃農地が増え農業後継者不足（平成 2 年に比し 40%減）も顕在化している。

主な地域状況 ・人 口 3.9 万人 ・世帯数 1.4 万人



【山梨市位置図】



【八幡地域】



【NPO ガバメント協会 古民家】

#### ● 活動地域の課題

過疎化により多くの空き家が点在しているが、先祖から受け継いだ家屋を売ったり貸したりするなど考える人が少ない。しかし、放置しておけば、単に朽ちるばかりで、人口減少と地域コミュニティの機能は、低下する一方であり、防犯上からも空き家の点在は、課題とされている。

こうしたことを踏まえ、山梨市では、平成 18 年度から空き家バンクを実施している。

既に、28 件の成約に至っているが、成約者の 6 割が、二地域居住者であり、昨年度本事業で実施したアンケート結果によると、二地域居住を希望する人が全体の半数余りを占めている。

さらに、住居として、古民家を求める人が、全体の 4 割を占め、改修方法などのノウハウを身に付けたいといった要望や地域の人々と係わる切っ掛けづくりが、ほしいといった要望が多く寄せられている。

#### ● 活動の内容

##### ・平成 20 年度

本年度は、山梨市の八幡地域にある窪八幡神社（国の重要文化財指定）近くの一築 100 年以上の古民家を山梨市より借り受け、都市住民の参加と地域住民の協力により、その改修作業を交流体験事業として実施した。

##### ① 交流体験事業等の実施

- ・古民家改修や地域の街並み保存・復元活動等への参加・協力を通じて、都市住民の地域の理解と地域住民の都市住民の受入意識の向上を図った。
- ・二地域居住・定住希望者のニーズに合わせた交流体験事業等を実施した。

##### ③ 空き家物件等の紹介

- ・空き家バンクや(社)県宅地建物取引業協会と連携し、二地域居住・定住希望がある交流体験事業等の参加者や市が実施している空き家バンクの紹介をした。

##### ・平成 21 年度

##### ① □ 古民家改修体験事業及び交流体験事業の実施

##### ② 地域街並み保存、復元活動事業の実施

##### ③ 移住・二地域居住希望者相談事業及び関連情報提供の実施移住

## ● 活動の成果

### ・平成20年度

最近の故郷回帰やLOHASな生活志向について、感覚的にはわかっているものの、山梨市に対する具体的なニーズ等は把握していなかったが、アンケート調査の実施・分析により、都会の人にとって山梨市は多くの魅力があるということ、古民家に対するニーズが高いことなどを確認することができた。

最近の、自然環境や食の安全に対する意識強く反映して、団塊の世代を中心とした年齢層の方々は、「田舎暮らしをしながら家庭菜園や古民家を改修などして、第二の人生をのんびり暮らしたい」という希望者が多く、30代を中心とした若い世代では、「自然豊かな地で、子育てをしたい」などや「葡萄や桃づくりをしたい」言った声が多かった。拠点古民家の改修について、ワークショップに参加しての感想は、「古民家を購入して実際どのように改修してよいのか分らなかったの、このワークショップに参加してとても参考になった」、「今後、古民家を保存していく意義や保存方法など貴重な体験をすることができた」などの参加者の感想が寄せられた。

また、「移住や二地域居住を考える上で、地域の情報を事前に知ることができてよかった」、「参加者に、移住の方が参加していたので、実践談など実際の話聞くことができとても役立った」、「地域住民との交流が図れてよかった」といった感想も寄せられ、当初の狙いはおおむね成功したと思われる。

新聞やTVなどで紹介されるようになってきたこともあり、少しずつ周囲の理解度が変わってきた。最近では、地域の方々が、見学やワークショップに参加する程までに進展した。

交流体験事業について、空き家見学ツアー・物件相談会では、市役所及び山梨県宅地建物取引業協会との連携により、物件の見学及び説明・相談をプロが行い、二地域居住実践者の声を聞くことができ、空き家所有者・移住希望者ともに大変参考になったとの声を多く聞いた。また、地域町並み保全・復元活動のセミナーでは、八幡地区の歴史に詳しい地域の方を講師に招き拠点古民家と八幡神社、地域の歴史について学ぶことで、地域住民の地元への愛着を掘り起こし、深めるとともに、都市住民にも、この地域のすばらしさを伝えることができた。

### ・平成21年度

(活動の状況、地域内での反響・効果及び周辺への波及効果等について記入)

昨年度に引き続き、古民家改修ワークショップを開催している。特に、ワークショップを通じ、家屋改修方法のノウハウを身に付けることや、地域住民との交流も、地域にとっても新たな風を吹き込むことで、活性化されている。

また、自然及び歴史文化資源に恵まれた八幡地域の街並を保存及び復元するため、NPOの拠点施設がある近くにある100年以上の歴史のある造り酒屋と国の重要文化財が数多く指定されている窪八幡神社と街並み保存に向けた話し合いを進めている。

## ● 今後の課題及び展望

### ・課題

古民家の改修ワークショップを通じ、山梨の魅力を伝えることができた。

同じ作業をすることで、共通の話題と新たな考え方や見方をお互い学ぶことができた。

ワークショップなど、定期的を開催することで、2地域居住者を増やしていくことができる。

### ・展望

古民家改修を実施している施設については、週末の常駐者が少ないことから、週末スタッフが対応できるように、考えていきたい。

そうすることで、リピーターの確保とさらに2地域居住者の推進につながるのではないかなと思う。



古民家前にて 改修体験後を終えて



床塗り作業



床塗り作業



土壁塗り



地域との話し合い



地域の方々による見学会